



家族月間

Governor's Message

家族の絆がロータリーの根本

国際ロータリー第2750地区 2011-12年度 ガバナー 片倉 章雄



公式訪問も国内84クラブが終わり、PBグループを残すのみとなりました。今回の公式訪問を通じて、私は、ロータリアンとして活動続ける皆さんの温かい心を非常に身近に感じました。特に今年は、3月に未曾有の被害をもたらした東日本大震災が発生しました。それぞれのクラブが復興支援にのぞむ姿勢はもとより、常々されている社会奉仕、国際奉仕に対してもクラブとして将来にわたってどうするか長期的に考えていただいていることを知り、私は頼もしく、そして心強く感じています。いまさらながらロータリアンの家族的な温かさ感激するとともに、大きなロータリーの輪こそ家族のようなものと再認識した次第です。

折しも12月は家族月間です。カロヤン・バネルジーRI会長は、強調事項の第一に「家族」をあげています。そして、バネルジー会長は「心に平和を見出してこそ、家の中に平和をもたらす、そして地域社会に平和をもたらすことができるのです」と語っています。 私たちが行う奉仕の全て、世界で成し遂げたいと望むことの全ての

出発点は、家族にあると強く訴えています。

もちろん、私たちの生活の根本は家族にあります。家族がお互いに支えあってこそ平和な生活を築き上げることができます。その支え合いが集まって平和な社会を作り上げます。ともすれば忙しい文明社会の中で、忘れられがちになっていた「家族」こそ人々の根底に根ざした絆であることが、今回の大震災での経験に照らしてみれば、皆さんにも深く実感していただけることと思います。

また、バネルジー会長は「自分が強くなれば、共に生きる人々や家族も強くなります。そして、強い家族を土台として前進していくことができるのです。中に強さを秘めた人々が協力すれば、人類にもより良く奉仕することができます。これこそ、私たちがロータリーで行っていることです」とも語っています。

私たちは家族月間を機会に、家族によって私たちの生活が成り立ち、家族の支えによって私たちの活動が成り立っていることを、もう一度考え直してみてもいいのではないのでしょうか。

そして、「家族」という絆を基本におき、クラブと地区が一緒になってロータリーの活動に取り組んで行きたいと考えています。

INDEX ※ [3]～[14] は、地区ホームページ(Web)上に掲載しております。

<http://www.ri2750.org/>

- 1** ガバナーメッセージ
- 2** 復興支援地区委員会
第2520地区視察報告
- 3** 地区行事日程
- 4** 千代田グループ 活動通信
- 5** 山の手東グループ 活動通信

- 6** 多摩南グループ 活動通信
- 7** 新クラブ報告
〔東京 i シティRC加盟認証状伝達式〕
- 8** 会員基盤委員会 活動通信
- 9** 奉仕プログラム委員会 活動通信
- 10** 第3650地区 地区大会 参加報告

- 11** 委員会紹介
〔会員増強・クラブ拡大委員会/ロータリー情報委員会〕
- 12** 委員会紹介
〔ロータリー親睦活動委員会〕
- 13** 寄付報告/文庫通信/物故
- 14** 出席報告/編集後記

復興支援地区委員会 第2520地区視察報告

復興支援地区委員会 副委員長 松下 昌夫（東京城南RC）

千年に一度と言われる2011年3月11日に発災した東日本大震災は、地震と想定外の津波により、かけがいのない尊い生命と財産、これまで築きあげてきた歴史的、文化的財産をも奪い去るとともに、岩手県・宮城県・福島県の太平洋沿岸地域の中核をなしてきた水産業及び港湾施設を始め、市街地や商業・観光施設・住宅・交通網・行政機能など、広範・多岐にわたる地域の社会的機能が壊滅的な被害を受け、社会経済活動に甚大な被害をもたらしました。

さらに福島第一原子力発電所の事故が加わり、かつてない大震災の猛威や恐ろしい経験は、被災された地域の方々はもとより、日本全国・世界各地の人々にまでその影響は広がり、その全ての人々が一日も早い復旧・復興を願う状況が現在も続いております。

壊滅した市街地や被災地域の再建については、多くの困難が付きまといますが、何よりも地域産業の再生と発展を目指し、安心・安全なまちづくりの国民的な規模での取り組みが求められています。



ロータリーも又例外ではありません。当地区復興支援地区委員会もそれらを考え、10月8日（土）、9日（日）、片倉ガバナーはじめ21名の委員（右記参照）を中心にした東日本震災被災地調査団をつのり、第2520地区宮城県仙塩地区を中心に視察に行き参りました。半年以上経ったにも関わらず、まだまだ復興には遠い道のりと一緒に考えさせられました。

視察は仙台より閑上地区（人口比率で死亡者1位）・七ヶ浜市場・多賀城地区そして桂島・野々島は船をチャーターしての視察でした。第2520地区菅原ガバナー、佐藤昭市長、桑原茂商工会議所会頭とも会談し、現地の状況を伺うことができました。その中で特筆すべきは塩釜ロータリー・クラブが中核となって地区の支援を受け、「（仮称）ロータリー震災復興産業会館」なるロータリー会館の建設計画が実施されようとしている事です。東日本震災復興基金日本委員会からも支援を受けその輪が全国的に広がっているようです。我が復興支援地区委員会も具体的にどう支援できるか検討していきたいと考えております。

また、前辰野年度の災害遺児の教育環境支援プログラム（ロータリー希望の風奨学金）にも協力していく事が復興支援地区委員会として決定しております。

2011年10月8日（土）・9日（日）東日本震災被災地調査団



役 職	氏 名	ク ラ ブ
ガバナー	片倉 章雄	東京日本橋
委員長	市川 伊三夫	東京銀座
副委員長	松下 昌夫	東京城南
委 員	佐久間 崇源	東京目黒
委 員	舟木 いさ子	東京白金
委 員	片岡 婦美江	東京麻布
委 員	森尾 稔	東京恵比寿
委 員	鈴木 齊	東京城南
委 員	小粥 定美	東京成城新
オブザーバー	大西 紀男	東京南
オブザーバー	平野 照幸	東京日本橋東
オブザーバー	村口 正	東京白金
オブザーバー	服部 陽子	東京広尾
オブザーバー	関 博子	東京世田谷中央
オブザーバー	井上 直行	東京町田サルビア
オブザーバー	藤波 瑋光	東京国立白うめ
オブザーバー	篠塚 武雄	東京多摩
クラブ会長	島田 さゆり	東京広尾
クラブ会長	小川 高司	東京城南
グループ幹事	高根 博信	東京広尾
ロータリーの友編集長	二神 典子	東京築地

2011-12年度 地区行事日程 (12月-1月-2月)

12月 1日 (木)	PBG公式訪問〔～10日(土)〕	
12月 1日 (木) 14:00～	多摩南グループ IM	ホテルザエルシィ町田
12月 3日 (土) 18:00～20:30	米山記念奨学委員会 冬の懇親会	ホテルニューオータニ
12月 4日 (日) 11:00～	日本ロータリーEクラブ2650認証状伝達式・祝宴	リーガロイヤルホテル京都
12月12日 (月) 15:00～17:00	クラブ代表者会議／第1回 クラブ会長会	ロイヤルパークホテル
12月14日 (水) 15:00～17:00	地区役員会 中止	ガバナー事務所
12月14日 (水) 9:00～19:00	米山選考試験	ザ・プリンスさくらタワー
12月15日 (木) 16:30～21:00	東京赤坂RC 創立25周年 記念式典並びに祝賀忘年家族会	ANAインターコンチネンタルホテル東京
12月20日 (火) 15:00～17:00	第六回 復興支援地区委員会会議	三基商事東京支店第2ビル
12月29日 (木) 18:00～	日韓短期青少年交換歓迎夕食会	オリンピック青少年センター

1月 3日 (火) 18:00～	日韓短期青少年交換さよならパーティー	目黒雅叙園
1月12日 (木)	2012-13 国際協議会社行会	目黒雅叙園
1月14日 (土) 12:45～16:00	東京八王子北RC NEW YEARふれ愛コンサート(助け合う友の和!)	オリンパスホール
1月15日 (日) 14:00～17:00	新年会(派遣国決定通知)	オリンピック青少年センター
1月15日 (日)	2012年 国際協議会(～21日)	カリフォルニア州 サンディエゴ
1月17日 (火) 18:00～	2011-12 第5回 多摩東グループ協議会	未定

2月 2日 (木)	RLI PartII	国立オリンピック記念青少年総合センター
2月 8日 (水) 16:00～20:00	米山奨学生 期間終了式ならびに歓送会	京王プラザホテル新宿
2月13日 (月)	2012-13 地区チーム研修セミナー	目黒雅叙園
2月22日 (水) 16:30～18:00	第3回 クラブ会長・幹事会	ザ・プリンスパークタワー東京
2月22日 (水)	2011-12 地区大会	ザ・プリンスパークタワー東京
2月23日 (木)	2011-12 地区大会	ザ・プリンスパークタワー東京
2月27日 (月) 19:00～	東京高輪RC チャリティコンサート	きゅりあん 小ホール 品川区総合区民会館
2月28日 (火) 18:30～20:00	東京恵比寿RC チャリティコンサート	恵比寿ガーデンプレイス内 ザ・ガーデン・ルーム

※上記の地区行事日程は変更する場合がございます。予め事前にご確認の上、ご参加下さい。 ★青文字は佐久間年度の行事予定です。

千代田グループ 活動通信

インターシティーミーティングの報告

千代田グループ グループ幹事 佐藤 尚巳（東京南RC）

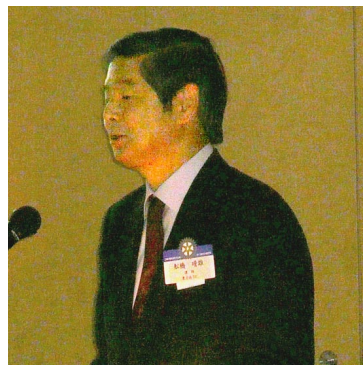
去る11月10日 16:00より、千代田、銀座・日本橋グループ共催のインターシティーミーティング“職業奉仕シンポジウム”が開催されました。

千代田グループと銀座・日本橋グループは、かつては千代田分区として活動していた歴史があり、東京日本橋RC出身の片倉ガバナーを応援する意味を込めて両グループ合同のIMを開くこととなりました。

ここ数年、職業倫理観の欠如による不祥事や社会を揺るがす事件が数多く起こり、職業奉仕について今一度考えてみることに意義深いと考え、短時間で多くの会員が参加し易いシンポジウム形式のIMを企画しました。

IM実行委員長平野熙幸銀座・日本橋グループガバナー補佐の来賓紹介と開催の挨拶でIMが始まりました。

基調講演として、企業倫理を長年研究されている、シリウス・インスティテュート株式会社代表の船橋晴雄氏（東京南RC会員）をお招きし、「日本人の職業奉仕を考える」というテーマで講演をいただきました。鈴木正三の万民徳用の精神や石田梅岩ビジネス感、日本の長寿企業の秘訣や近江商人の隠徳善事の例などを紹介いただき、日本人の持つ商の倫理観はロータリーの職業奉仕を考える上で大変参考になりました。



基調講演をする船橋氏



パネルディスカッションの様子

第2部のパネルディスカッションでは、パネリストに、東京芝RC会員、元千代田グループガバナー補佐秋山庸一氏、東京日本橋RC会長浅野純次氏、東京中央新RC副会長石川和子氏、東京新橋RC会員前千代田グループガバナー補佐金澤洋氏と講師の船橋晴雄氏にお願いし、コーディネータを東京南RC幹事畑敬氏にお任せしました。

職業奉仕は、その定義が綱領にも手続要覧にも記載がなく様々な解釈が存在するので、秋山氏から最初に職業奉仕が提唱された歴史と

その内容を簡単に紹介して頂きました。

次に浅野氏からは、会社経営上のステークホルダーについて、最優先にされるのは株主でも顧客でもなく社員ではないか、との問題提起がありました。また、いかに利他的であり得るかが大切である、との指摘がありました。

石川氏からは、父君から継承したアニメ製作会社経営の事例を挙げ、利益は薄くとも作家を社員雇用し品質確保に努め、刺激的な内容を避け、親子3代が仲良く暮らすお茶の間を大切にする映像を作り続ける努力が紹介されました。船橋氏からは利益は薄くとも100年、1000年持続すれば利益の総和は大きなものとなる、との励ましが会場が沸きました。

金澤氏からは、職業奉仕を理解するにあたり、過去の定義や記述を羅列してみたが、それぞれ切り口が異なり決定的なものはなかったことが紹介されました。また、明治初期に岩倉使節団が近代文明を学ぶために欧米視察をおこなっているが、精神的には彼らの文明に学ぶものは無しと報告をしていることから、日本人の倫理観は当時より欧米を凌いでいたと思われる指摘されました。

第2部の締めくくりに、東京銀座RC会員、パスト・ガバナー、地区研修リーダーの市川伊三夫氏から講評を頂きました。

IMに引き続き、会場を移動して親睦会を開催しました。久邇パスト・ガバナーのご挨拶の後、加来パスト・ガバナーの乾杯のご発声により会が始まりました。会食を楽しみながら職業奉仕について大いに語り、親睦を図りました。

IMの登録総数は来賓と両グループ会員を合わせて149名で、懇親会終了まで多くの会員が残り、熱い議論を通して有意義な時間を共有できました。

最後に、会場をお借りした東京南RC会員の斉藤勝利氏と第一生命の関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

山の手東グループ 活動通信

『日本語スピーチ大会』の支援

東京杉並RC 会長 酒井 信世



この催しは、杉並区交流協会が毎年3月に実施しているもので、当クラブは第2回目の平成16年より共催し、今年で7年目となります。対象は杉並区内在住または在学の外国人青年層です。区内には中国人が多く在住していることから応募者の多くは中国人ですが、書類選考の段階でより多くの国籍の方がコンテストに参加できる様配慮されています。約10名が選考されコンテストが行われ、審査員には当クラブ会員も加わっています。内容は多岐にわたり、「平安文化とロシア文化の類似点」と私どもが聴いた事もない様な研究成果を発表するロシア人、「ミャンマーの食生活と日本のそれとの類似点」を話すミャンマーの女の子、そして兎角この手のコンテストでは日本人の美辞麗句を話す人が多いのとは反対に「あるファーストフードの店員の敬語が可笑しい」とコミカルに話すアメリカ人や「冬でも生足・ミニスカートの女子学生は変だ」と医学的根拠から批判する英国人等々。若い外国人が見ている日本を其々の視点から発表しています。

入賞者はクラブの例会に招待し、会員にコンテストでのスピーチと同じ内容の発表をしてもらっています。

今年のコンテストは3月5日に行われ震災の前でしたが、来年は彼らが見た震災に関わる発表があると思います。どんな視点でどの様に感じているか、クラブ会員は次のコンテストが待ち遠しいところです。



2012年2月『END POLIO NOW』のイベント開催!!

東京六本木RC 会長 安井 悦子

東京六本木ロータリー・クラブは、2004年11月22日に創立され今年度7年を迎えました。創立以来、『環境』と『地域への貢献』をキーワードに、奉仕活動を行って参りました。今年度のクラブテーマは『心の花を咲かせよう、がんばろう日本!』、日本人のたおやかな心をもって、多くの人が一日も早くこの震災被害から明るい未来に向かって再スタートできるように尽力して参りたいとの思いを込めました。

また今年度ファイナルとなる、「ポリオ撲滅2億ドルチャレンジ=END POLIO NOW」のキャンペーンとして、2012年2月20日(月)にクラブの例会会場である六本木ヒルズで、『END POLIO NOW』のイルミネーションを投影するイベントを開催致します。ポリオ根絶の近い今この時こそ必要なキャンペーンであり、「あと少し」のポリオ撲滅に対する日本人の意識を向上させ、ポリオに対するロータリーの奉仕活動に理解と協力を得ることを目的としています。本イベントは第2750地区の広報活動として国際ロータリーから補助金を頂き、東京六本木ロータリー・クラブが主催し、山の手東グループ各クラブの共催、協力で実施いたします。

六本木から東京、そして日本全国へ「ポリオ撲滅」の認識を広めるイベントとなることを期待し、『ポリオの無い世界』の実現のために、より多くのロータリアンと一般市民の方々にイベントへの参加をお願いいたします。

第2750地区のロータリアンの皆様には、是非このプロジェクトにご賛同頂き、周辺地域のお知り合いの方へのイベント参加への告知などにもご協力をよろしくお願い申し上げます。

—『ポリオの無い世界』実現のために!—

日 時：2012年2月20日月曜日 夜間例会

片倉章雄ガバナー公式訪問

会 場：投影 六本木ヒルズ(*18:00より点灯式を予定しております)

参加者：六本木ロータリー・クラブ、共催・協力クラブ会員 他 協力団体・一般

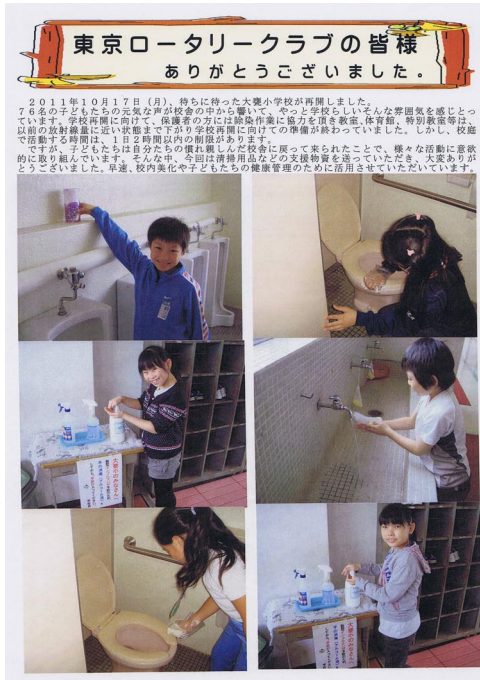


多摩南グループ 活動通信

東京日野RCの活動

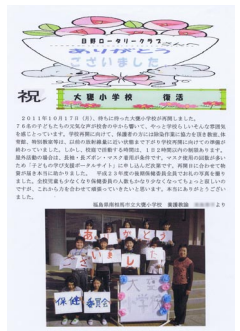
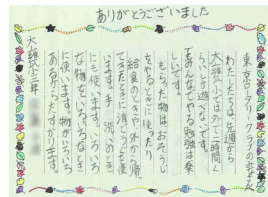
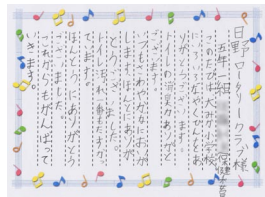
東京日野RC 新世代奉仕委員長 松浦 信平

2002年から当クラブでは、日野市の中学生を福島県にあるブリティッシュヒルズ(BH)に送り出し、語学研修・異文化体験をさせる「BH国内留学事業」を展開してきました。しかし、福島原発事故により、今年度のBH国内留学事業は中止を余儀なくされました。これにかわる事業を模索する中、私たちは、「今、最も支援を必要としているのは被災地の子どもたち」との認識のもと、「被災地の子どもの学び支援」に取り組むことになりました。



現地のニーズをキャッチするため私たちが活用したのは、文科省が設置する「子どもの学び支援ポータルサイト」です。このサイトには被災地の教育現場からの支援要請が刻々と届けられています。私たちが支援に取り組んだ10月は、原発周辺の緊急時避難準備区域指定が解除された時期で、いくつかの小中学校から学校再開に向けた支援要請が寄せられていました。その一つとして校舎の清掃用品の支援を求めている南相馬市立大甕小学校に連絡すると、大変に喜ばれ、現地とのやりとりを経て、必要な種類・分量の清掃用品一式を取り揃え、送ることができました。後日、大甕小学校からお礼状、写真、作文などが寄せられ、小規模でも心の通う支援を実現できたことに、たいへん嬉しく思いました。

今後も「今、私たちにできること」を真剣に模索しながら、意味ある奉仕事業を展開していこうと思います。



東日本大震災地「石巻」を訪ねて

東京八王子北RC 会長 鈴木 秀男

9月25日(日)～26日(月)の2日間宮城県石巻市社会福祉協議会へ「車椅子・介護ベッド」の贈呈に行参りました。石巻の社会福祉協議会では貸出用の車椅子と介護ベッドが震災の被害を受けて支援を求めているとの情報を得たのがきっかけです。森屋奉仕プロジェクト委員長と協議の結果、今年度の最初の事業にしようということになりました。

当クラブには介護福祉関連の事業に携わっている会員が4名おりますのでこれらの物品を集める方法と情報を持っているだろうということもありました。中古の車椅子と介護ベッドの募集をしたところ車椅子が56台、介護ベッド12台が集まりました。これらを修理・消毒・クリーニングし、発送準備を行いました。石巻の4ロータリークラブ(石巻・石巻東・石巻西・石巻南)と協議の結果、石巻社会福祉協会への贈呈式を合同で行うという手はずになりました。当クラブからは、親睦旅行も兼ねてということで、会員と家族を合わせて28名の参加がありました。現地に到着、被災地が一望に出来る日和山公園からの光景は今回の津波のすごさをあらためて感じさせるものでした。石巻の4クラブとの懇談会では被災の状況を更に知ることが出来、復興支援を継続的に行う必要性を認識致しました。



新クラブ報告

東京 i シティ RC 加盟認証状伝達式

東京 i シティ RC 幹事 藤井 丈久



2011年11月4日、私ども東京 i シティ RC は、無事、国際ロータリー加盟認証状伝達式を終えることが出来ました。この不況下にもかかわらず、また行楽シーズンの連休の谷間であるにもかかわらず、約300名のご出席を頂き、成功裡に終わらせることができました。これもひとえにロータリアンの皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。第2750地区では92番目、多摩東グループでは10番目のクラブが誕生したことになります。

東京 i シティ RC の所在地は稲城市になります。多摩川の中流に位置し、緑豊かで、梨の名産地としても知られています。人口約8万5千人の小さな市ですが、小さいだけに、人情豊かで行政的にもサービスが行き届いています。

東京 i シティの『i』は、① 稲城市のCIである、愛の町の『i』、② ロータリークラブが信条とするところの、人類愛の『i』、③ 国際感覚を育んでいく、Internationalの『i』の3つのキーワードから成り立っています。

i シティの特徴的な点は、＜一＞に、ローカルに在って、会員25名の内、50%が市内の会員、50%が市外、つまり周辺地域から入会した会員であること。＜二＞に、『夜例会クラブ＝午後6時半～7時半』で、食事は無しです。『シンプル イズ ベスト!』を旨とし、その代わり、年会費とビジター費をコストダウンしています。＜三＞に、平均年齢が52.6才と若いクラブであることです。ただ単に若いということではなく、30代、40代、50代、60代、70代から構成されていてバリエーションに富みながらも且つ若いクラブということです。

この10月に市民祭りが土日の2日間に亘って催された時、誕生したばかりの i シティは、市民に自クラブの存在を知らせる絶好のチャンスと捕らえ、奉仕プロジェクトを中心に2日間の企画を練りました。1日目はマスコミでも有名な風船職人、SHINO さんと呼んでの『アートバルーン』を実施、2日目は3歳以上小学2年生以下までを対象にした、ポニーの試乗会を実施しましたが、今回のイベントは i シティの地域デビューが掛かったイベントでしたので、遠藤会長を中心に、みんなが一丸となって取り組みました。95%の出席率の中で、やはりこんな時に発揮されたのが若さでした。i シティの地域デビューという使命感の中で、若い会員を中心に朝早くから夕方まで惜しみなく活発に活動してくれました。イベントが成功したか否かを決める目安の集客数は予想を遥かに上回り、地域デビューは大成功でした。



クラブがクラブ創りとして目指すもの、それは西東方向に多摩川を抱くこの地にあって、多摩川の橋から汚物を流したとしても10メートルも流れれば清流に戻っていきます。それは多摩川自身に自浄能力がある証です。このように、先々、クラブが一時期沈滞することが仮にあったとしても、各会員が常に創立の原点に立ち返り、多摩川の清流のように、『自浄能力に溢れたクラブ創り』を目指すことです。自浄能力とはクラブ運営が定款・細則を遵守し、それでいて親睦を中心とした企画を充実し、各会員がクラブライフを楽しんでいける環境創りです。

どうぞ第2750地区の各クラブの皆様、今後とも東京 i シティロータリー・クラブを宜しくお願い致します。東京 i シティに一度、メイクアップにお越しください。

会員基盤委員会

当期のクラブ拡大についての模索

会員基盤委員会 委員長 中島 康裕（東京中央RC）



当委員会としては、本年9月より各グループ別に会員増強委員会を開催し、ガバナー補佐のご協力により各クラブ会長幹事、会員増強委員長にご参集いただき、今期の会員増強に於ける会員開発、勧誘と維持について検討を重ねてまいりました。お蔭をもちまして上半期の活動も順調なすべり出しが出来、会員増強の結果は純増67名(入会者108名、退会者41名、9月末)となっております。

さて、ご案内のように今年度はRIカルヤン・パネルジー会長が唱導し、RI会員増強・維持委員会が設立され、アジア地域では、日本から市川伊三夫(PG)地区研修リーダーが委員に就任されました。

世界のロータリアン数は、過去5年はほぼ横ばいを続けていますが、その中身を見ると著しく減少している国、地域があります。

①世界のロータリアン数	②会員減少国	③会員増加国
2000年 1,180千人	RIBI (英国) △12.27%	中部、東部ヨーロッパ +28.82%
2005年 1,224千人	日本 △10.93%	印度 +23.74%
2010年 1,227千人	北米(米、加) △6.87%	アフリカ南部 +14.17%
(以下省略)		

以上の通り、RI会長はこの現実をロータリーの危機と見ています。そして減少を続けるロータリーの中心国(特に日本、アメリカ、カナダ、豪州)に対して

- (1)何が原因か、
- (2)時代の要請は何か、
- (3)ロータリーのルールを変えれば改善すると思われる点をすべて洗い出して欲しい。ルールを変える方向に進もう。
- (4)会員増強・維持なくしてロータリーの発展はない。——— 以上のとおりシカゴRI本部に於ける会議で説明されました。

又、The Rotarian 9月号でも「世界全体で40歳以下の会員が11%しかいない。若い人を誘うことが急務」と述べています。

日本にとっては……

- ①何が減少の原因か判りにくい
- ②女性は何故もっとふえないのか
- ③会員に若い人が減少していることについての対策を早急に検討する必要がある。

との問題の指摘があり、例えば

- (イ)例会を大胆に朝、夜の比率を変える(日本の昼比率は世界で最も高い)
- (ロ)会費についても全体に高コスト体質を改善する
- (ハ)30代20代に新会員のターゲットを広げる。
- (ニ)女性会員について積極的に勧誘すべきである
- (ホ)会員がふえないクラブは旧来のしきたりやルールを変更すべきである。

との検討課題が示されています。

以上の結果

当地区に於いては緊急の課題として、今期中に市川研修リーダーのもとに抜本的な体制整備を行っていくこととし、特に若い人を中心とした新しいクラブの創設を検討することとなった。

そのため、Eクラブを含むクラブの拡大に積極的に取り組む方針で、現在はEクラブ拡大準備委員会を10月に立ち上げ、今期中の設立を目指している。

新クラブのスポンサーについては地区が作るクラブという新しい概念の導入を考え、また新しい概念のクラブ構築を支援するため地区内で協力クラブを募集するなど、様々な検討を重ねている段階です。次の早い機会に進捗状況をご報告いたしたいと存じます。

奉仕プログラム委員会

社会奉仕委員会の活動

社会奉仕委員会 委員長 福原 有一（東京銀座RC）

社会奉仕委員会は、地域社会奉仕委員会と環境保全委員会の2つの活動を推進していますが、今回は地域社会奉仕委員会の活動を報告いたします。

会員の皆様の「超我の奉仕」を実践した奉仕活動は、地域への社会貢献でみごとな成果をあげられています。ひとりひとりのご努力に心よりお礼を申し上げます。また、その活動を裏で支えられた片木委員長をはじめ、地区地域社会奉仕委員皆様にも感謝申し上げます。

<報告1. 地域社会奉仕レポートの発信>

第2750地区の各クラブへそれぞれのクラブが推進している活動の内容を伝え、互いの情報を交換しあい、活動の質を高めていくためのサポート活動。今年7月より11月まで毎月レポートを発信中、来年6月まで継続。

<報告2. 知的障害児への支援>

知的障害児の支援団体である「東京都手をつなぐ親の会目黒支部」への支援活動。12月4日(日曜日)の「障害者週間記念事業」に東京城南ロータリークラブをホスト・クラブとし東京目黒、東京自由が丘、東京青山ロータリークラブがバザーとイベントで参加。



<報告3. ユニセフ等の団体に寄付>

東京武蔵府中ロータリークラブをホスト・クラブとし、書き損じハガキ、使い残しの切手、テレホンカード等を収集しユニセフ等の団体に寄付。そのための収集ボックスを山の手西グループ8クラブ、多摩東グループの8クラブに設置。これからも設置に参加するクラブが予想され、その成果が期待される。

<報告4. 東日本震災復興チャリティの日野原重明先生100歳記念特別講演「耐えて生きることから生じる喜び」の後援>

11月7日に開催。主催は東京銀座新ロータリークラブ。またロータリアンの皆様が演目の一つであるコーラスに参加。当日は福島県の被災者の皆様90名をご招待し、共に講演とコーラスを楽しみ、会場では義援金も集まる。



ところで私たちロータリークラブの「超我の奉仕」は英語の「Service Above Self」の訳で、語源をたどると「serve」は礼拝という意味の「Service」からきているようです。その意味を辿っていくと聖書の「自分がされたいように相手にもおこなえ」とか「Serviceとは実体のない神様の代行」というような聖訓に辿りつくそうです。

さて、2011年～2012年度のロータリー（IR）のテーマは「こころの中をみつめよう 博愛を広げるために」（Reach Within to Embrace Humanity）です。東日本大震災を経験した私たちにとって大変心に沁みるテーマだと思います。

私たちはこの大震災の経験から絆の大切さを再認識しました。「奉仕するものは行動しなければならない」と1923年の社会奉仕に関する声明にもあります。社会奉仕委員会報告にあるような様々な活動を実践することで、ロータリアン同士ばかりでなく地域の方々とも絆を結び、広げていくことが大切です。この絆を見直す奉仕活動が地域社会のコミュニティーを復活させ地域の再生の手助けになれば幸いです。

また奉仕ばかりでなく、親睦もロータリアン活動の両輪です。親睦が出来てこそ奉仕がよりの確に、そして深くなるものだと思いますし、奉仕を実践しているうちに親睦もひろがり、絆も固く結ばれるのでしょう。絆に裏打ちされた皆様の益々のご活躍を期待し報告を終わります。

RI第3650地区（韓国）第50回 地区大会に参加して

第2750地区 国際友愛委員会 委員長 西山 眞理子（東京青山RC）

去る2011年11月10日から12日までの3日間、韓国グランドハイヤット・ソウルホテルにおいてRI第3650地区の第50回地区大会が盛大に開催されました。ホテルへ向かう道筋、ホテル入り口にも50周年の大会旗がなびき、大会に臨む熱意や盛り上がりをひしひしと感ずることができました。

韓国第3650地区にとっては今年50回目を迎える節目の地区大会でもあり、加えて今年のカバナー文徳煥氏は長年にわたり、日本と韓国との友好と共同奉仕事業に尽力された方ということもあり、以前から交流のあるカバナー、令夫人13名をはじめ、多くの親しい友人達が年次大会に参列することになり、日本からは総勢66名での参加となりました。文カバナーは日本語が堪能でもあり、これまでも日本と韓国との親交のために多くの時間を費やされてきました。私達多くのロータリアンが彼を祝福するために日本から出向いたことは文カバナーにおかれても感慨深いものであったことと思われまふ。

11月10日RI会長代理ご夫妻と日本人ロータリアンを迎えての前夜祭が18:00からスタート致しました。文カバナーより歓迎の挨拶があり、RI会長代理に続き片倉カバナーのお祝いの辞が披露されました。食事をしながら今回出席の岩井パスト・カバナーを皮切りに、7人のカバナーが次々にご挨拶をされ、とても和やかな雰囲気のひとつとなりました。今まで先輩方が築かれた確かな友情の輪を感じることが出来た時間でもあり、参加したほとんどの方がこれからも両国の絆を深めていかなければ、と再確認した時間でもあったと思います。

11月11日、大会第1日目はRI会長代理入場の後、歴代のカバナーが入場され、韓国国歌に引き続き、日の丸旗をバックに日本国歌が斉唱されました。今年のRI

会長代理は日本のRI第2780地区（茅ヶ崎湘南RC）松宮剛氏であり、ご挨拶で4つの今年度の強調事項についてご自分の私見を含め述べられました。そして、『ロータリーの世界において決して変わってはいけないものは「ロータリーの綱領」とその精神であり、それは「奉仕の理想」を中心に捉えた職業人の望ましい生き方を高らかに謳っているもので、それがロータリーそのものだからです』と述べられ、『博愛を広げるためにロータリーの綱領が存在しているのです』と締めくくられました。

文カバナーはご挨拶の中で第2750地区のご出席されたカバナー、歴代のカバナー、カバナー・エレクトのお名前を1人1人読みあげられ感謝の意を表されました。

片倉カバナーはご挨拶の中で被災地への支援のお礼を述べられるのと同時に、日本の現状は会員が減少傾向にあること、韓国と日本が相互に理解を深め共に手をつないで活動することがアジアの平和に大きな力を発揮する、とご挨拶されました。

夜の晩餐会も和やかで楽しいものとなりました。その後、軽くワインを飲みながらの歓談が行われ、心温まるおもてなしを受けました。

11月12日はそれぞれのツアー、個人の予定での行動となりましたが、私達のグループは韓定食（宮廷料理）を楽しみました。これは日本人の嗜好にも合い、とても美味しくいただき全員大満足でした。その後、市内を観光し、大きなハプニングがあったものの事なきを得、楽しい韓国での最後の日程を終えることが出来ました。今回の大会に参加出来た事はとても意義のあるものでした。来年2月の地区大会には韓国から大勢の方がお見えになるといいます。国際友愛委員会では少しでも皆様に喜んで頂けるよう協力したいと考えております。



委員会紹介

東京Eクラブ2750の拡大

会員基盤委員会 委員長 中島 裕康(東京中央RC) / 会員増強・クラブ拡大委員会 委員長 石井 義興(東京恵比寿RC)

当地区でEクラブを作る事に成りました。Eクラブは2010年正式に規定審議会で認められ日本でも日本Eクラブが今年6月30日承認され、去る12月4日チャーターナイトが京都で開かれ現在44名の会員がおります。当地区では8月から基盤委員会で協議の後、市川研修リーダー(RI会員増強・維持委員)を中心にEクラブ拡大準備委員会が発足し原案が検討されてきました。この案は11月の地区役員会を経て12月12日の会長会で資料が配付し報告されました。このEクラブは地区が「親」となり、それを支援する「協力クラブ」の募集が現在行われて居ります。

このクラブは会費を安くし、若者中心のクラブを目指して居ります。ロータクトOBやR財団が支援した国際親善奨学生OBなど多くのロータリーゆかりの方々が大勢いるにもかかわらず、それらの方々は費用が高くなかなかロータリーには入れません。その方々をこのEクラブにお入り頂こうと考えて居ります。また米山奨学生OBは東京米山友愛RCがEクラブを作り全世界の米山奨学生OB 16,000人を組織しようと準備中です。この2つのEクラブが第2750地区に出来ます。

東京Eクラブ2750に関する説明会は2012年1月18日3時からガバナー事務所で行います。そこで詳細のご説明を申し上げる予定です。ご興味のあるクラブはガバナー事務所にお申し込み下さい。

ご質問のお有りの方は、yoshiokiishii1311@bsp.co.jpまで。

ロータリー情報委員会の使命

ロータリー情報委員会 委員長 中村 孝(東京品川中央RC)

あなたのクラブの会員へのロータリー情報や重要連絡事項は十分に伝わり機能を発揮されておりますか。CLP導入以来既に6年程経りました。CLPの解説には、定款、細則も含め情報(委員会)なる文言は見受けられません。この問題に関する対応をクラブや地区は検討されましたでしょうか、効果的な情報伝達や、会員の研修は、いかにあるべきか。

最近のクラブや会員は知識が不足してはいないだろうか、と指摘される文が多く見受けられます。RIは、その点を改善すべく規定審議会で10-01「研修・リーダーシップ委員会の設置をクラブに奨励するようRI理事会に要請する」最初に採択しました。ロータリー情報委員会が無くなろうとも、会員の研修、豊富なロータリー情報修得は効果的なロータリークラブになる1歩であると考えます。

クラブ内の情報は十分な機能を発揮されておったかの問題で、今年度の地区協議会の討論の中でも、非常に問題が有るように感ぜられました。

ロータリーは毎年ルールが変化しており、クラブの質、会員の質は如何様にも変わります。

クラブリーダーは、その点に於いて重要な責務を持っていると考えるべきでしょう。これは地区運営に於いても然りです。この点をクラブも地区も目的・責務を明確にし、委員会を推進すべきです。私は今年度クラブに役立つ情報委員会は「どう在るべきか」「何をすべきか」を地区委員の皆様と討議をしました。

「大事な情報がクラブ会員に適切に伝わっておらないようだ」その理由は何か、その改善に地区委員会がお役に立てればよいのですが残念ながらその機能を全く果たしておりません、大変申し訳なく存ずる次第です、地区の方向にも問題が有るように思えてなりません。

2010年の規定審議会、その後のRI理事会等で重要な問題が提起されております。代表的なものに5大奉仕、Eクラブの採用、その他の変更も数多くあります。クラブのリーダーの方は大変でしょうがWeb、ロータリーの友や送付される資料より会員の皆様にお伝え頂く責務が御座います。そうする事によりクラブの益々の活性化に繋がりクラブライフが楽しいものになると信じております。ご健闘をお祈り致しております。地区委員会のメンバーをご紹介します。何か問題が御座いましたら、この方々にご相談頂けますれば幸いです。

副委員長：波多野容子(東京恵比寿RC) / 福島和義(東京武蔵府中RC)

委員：大日方真(東京赤坂RC) / 杉本寛行(東京品川中央RC) / 木村準(東京京浜RC) / 鈴木茂(東京立川こぶしRC)

委員会紹介

第2750地区ロータリー親睦活動委員会からのお知らせ

ロータリー親睦活動委員会 委員長 野上 征利（東京城南RC）

ロータリー親睦活動委員会のメンバーです。



中島委員長
（中央 RC）



野上委員長
（城南 RC）



伊藤副委員長
（レインボー RC）



吉谷委員
（中央 RC）



飯島委員
（成城 RC）



加藤委員
（麻布 RC）



菊委員
（調布むらさき RC）



久野委員
（城南 RC）

RI 第2750 地区ロータリー親睦活動員会は2008 - 09年度新藤信之ガバナーの提案でガバナー直属の委員会として発足いたしました。

2011 - 12年度は会員基盤委員会中島委員長を頭に会員増強、クラブ拡大委員会、ロータリー情報委員会そしてロータリー親睦活動員会がスクラムを組み活動をしておりますが、何か地区全体の会員増強にお役にたてることが出来ればと考えている次第です。

先般の11月14日開催された新会員セミナーもその一つの作業で御座います

“親睦は素晴らしい。それは人世の小道を照らし、喜びを広げます。大変価値があります”

とロータリーの創設者ポール・ハリスが述べています。

日々ロータリー活動とは異なる環境の中で 有意義なレクリエーション活動への関心や、同じ職業を持つ人々の職業意識の開発、そしてクラブや地区を超え新しい友人の輪を広げる行為の中で、新しい奉仕の機会を得たり、親睦の素晴らしさを感じたりする事が出来ることは皆さまご承知の通りで御座います。

これらの積極的な親睦活動がクラブ、地区、国を超え末永いロータリアン同士の友情を築き、大きい意味での世界理解と平和の推進に貢献できると確信しております。

又クラブ単位では新会員をもたらし、現会員を維持する重要な役割を親睦活動が担っていることは御承知のとおりであります。

地区ロータリー親睦活動委員会が2008 - 09年度に83クラブを対象に実施した趣味のアンケート調査は大変意味のある調査であったと思います。

現在それらの調査資料は大切に地区事務所に保管されています、ローカルなクラブがその資料を参考にクラブの親睦活動の進展を図ろうとする場合何時でも利用できるようになっておりますので是非御利用ください。

その調査から多くのクラブが積極的な親睦活動を展開されていることが認識されましたので、今年度は各クラブの親睦活動状況を Watch us を編集発行させていただき毎月会員の皆様にお届けさせていただいております、是非意図意味を御理解いただき会員増強に利用していただければ幸いです。

米山功労者ご紹介

ご協力感谢您いたします

■米山功労者

酒井 信世君	東京杉並	10.4	1	杉田 誠君	東京多摩グリーン	10.27	4
中谷 人志君	東京蒲田	10.6	6	小久保 二夫君	東京中央	10.28	8
星田 義弘君	東京杉並	10.7	1	野嶋 豊君	東京中央	10.28	2
土屋 了介君	東京銀座	10.12	3	宇野本 好明君	東京大森	10.28	1
福原 有一君	東京銀座	10.12	6	小宮山 宜克君	東京大森	10.28	7
後藤 守機君	東京山の手	10.12	4	福原 敏雄君	東京大森	10.28	2
森本 正昭君	東京山の手	10.12	5	福本 恵一君	東京大森	10.28	4
吉岡 桂輔君	東京山の手	10.12	2	鈴木 剛君	東京渋谷	10.28	7
伊藤 嘉章君	東京三鷹	10.12	4	貝塚 進君	東京渋谷	10.28	12
穴戸 幸四郎君	東京三鷹	10.12	2	久保 定子君	東京渋谷	10.28	1
高橋 一義君	東京三鷹	10.12	11	鈴木 剛君	東京渋谷	10.28	6
名取 秀雄君	東京三鷹	10.12	5	野末 泰子君	東京渋谷	10.28	3
吉谷 始展君	東京中央	10.14	1	林 佳代子君	東京渋谷	10.28	1
南部 桂子君	東京原宿	10.17	2	松尾 英子君	東京渋谷	10.28	3
小佐野 茂樹君	東京立川	10.17	1	吉岡 久仁夫君	東京渋谷	10.28	2
岡田 高治君	東京新橋	10.19	1	板倉 醇幸君	東京国立	10.28	1
吉田 雅晴君	東京世田谷南	10.19	20	白倉 徹哉君	東京武蔵府中	10.28	4
濱仲 幸弘君	東京国分寺	10.19	4	吉野 正樹君	東京日本橋西	10.31	7
東海林 修君	東京芝	10.20	1	小杉 義則君	東京立川	10.31	1
小山 善治君	東京昭島	10.20	3	志村 和則君	東京立川	10.31	1
大岩 俊雄君	東京日本橋	10.21	4	上原 義昭君	東京立川こぶし	10.31	4
小笠原 陽君	東京日本橋	10.21	2	金丸 清泰君	東京立川こぶし	10.31	11
鈴木 稔君	東京日本橋	10.21	30	川野 辰夫君	東京立川こぶし	10.31	5
田中 宏君	東京日本橋	10.21	2	北島 俊之君	東京立川こぶし	10.31	20
猿丸 安良君	東京中央	10.21	5	小嶋 公志君	東京立川こぶし	10.31	1
北原 邦雄君	東京世田谷	10.21	2	篠 武士君	東京立川こぶし	10.31	4
中山 眞君	東京世田谷	10.21	3	竹内 幸雄君	東京立川こぶし	10.31	6
松原 弘土君	東京世田谷	10.21	1	中島 秀夫君	東京立川こぶし	10.31	3
山田 充宏君	東京世田谷	10.21	2	中野 隆右君	東京立川こぶし	10.31	13
杉山 勲君	東京町田	10.21	3	野村 勝久君	東京立川こぶし	10.31	4
鈴木 逸郎君	東京シティ日本橋	10.24	1	前田 正明君	東京立川こぶし	10.31	1
田中 政義君	東京シティ日本橋	10.24	1	松山 宏君	東京立川こぶし	10.31	4
伊藤 幸男君	東京マリーン	10.26	4	村野 俊輔君	東京立川こぶし	10.31	2
直井 忠義君	東京世田谷南	10.26	6	持田 民雄君	東京立川こぶし	10.31	2
浅子 喬君	東京銀座	10.27	11	山口 孝君	東京立川こぶし	10.31	7
小林 隆行君	東京銀座	10.27	2	山崎 功君	東京立川こぶし	10.31	3
高田 昇君	東京銀座	10.27	2	山下 昌彦君	東京立川こぶし	10.31	2
塚本 清士郎君	東京銀座	10.27	7				

ポール・ハリス・フェローご紹介

◎はマルチプル
ご協力感谢您いたします

鈴木 馨君	東京芝	9月	Maria Calvo	タモンベイ	9月
植田 文夫君	東京芝	9月	Patricia B. Salas	タモンベイ	9月
◎ 八木 忠一郎君	東京芝	9月	Rindraty Limtiaco	タモンベイ	9月
◎ 内山 聖君	東京芝	9月	◎ Hall Fisketjon	タモンベイ	9月
◎ 野村 正道君	東京芝	9月	水戸部 賢治君	東京麻布	10月
山本 光俊君	東京品川	9月	◎ 土屋 了介君	東京銀座	10月
◎ 小関 幸子君	東京大井	9月	野々村 衛君	東京中央	10月
◎ 盛岡 公彦君	東京京浜	9月	新川 雅幸君	東京中央	10月
◎ 植松 好一郎君	東京京浜	9月	矢作 稔君	東京中央	10月
◎ 小路 良君	東京京浜	9月	◎ 植田 昌吾君	東京中央	10月
竹井 英久君	東京西	9月	◎ 島谷 恵介君	東京中央	10月
皆川 明良君	東京城西	9月	◎ 木村 紀一君	東京大井	10月
渋谷 寛君	東京広尾	9月	◎ 曾我 道治君	東京西	10月
◎ 吉田 慶太郎君	東京広尾	9月	門野 正尚君	東京城西	10月
西村 弘之君	東京世田谷	9月	南部 桂子君	東京原宿	10月
◎ 樋口 素生君	東京世田谷南	9月	篠田 恵美君	東京神宮	10月
田中 太君	東京立川	9月	◎ 森 陽子君	東京恵比寿	10月
◎ 町田 弘君	東京立川	9月	◎ 島田 さゆり君	東京広尾	10月
徳山 敬子君	東京三鷹	9月	柏原 玲子君	東京六本木	10月
◎ 五老 辰雄君	東京三鷹	9月	篠塚 博君	東京六本木	10月
◎ 宮崎 陽一郎君	東京三鷹	9月	渡辺 美智子君	東京六本木	10月
◎ 森谷 晴一君	東京昭島	9月	中村 恭子君	東京六本木	10月
◎ 中村 尚道君	東京府中	9月	◎ 安間 百合子君	東京六本木	10月
◎ 古泉 一蔵君	東京府中	9月	◎ 安井 悦子君	東京六本木	10月
◎ 野口 忠直君	東京府中	9月	◎ 佐久間 崇源君	東京目黒	10月
◎ 村野 猛君	東京府中	9月	鈴木 一弘君	東京目黒	10月
◎ 印部 武順君	東京府中	9月	後藤 康之君	東京米山友愛	10月
◎ 鹿島 哲朗君	東京府中	9月	林 志英君	東京米山友愛	10月
◎ 私市 正夫君	東京iシティ	9月	石原 愛理君	東京米山友愛	10月
Angel Mendoza	タモンベイ	9月	Daniel Joseph Jones	東京米山友愛	10月
Anita Borja-Enriquez	タモンベイ	9月	杉山 勲君	東京町田	10月
Bonnie Lee	タモンベイ	9月	◎ 田中 靖君	東京小金井	10月
Eloy Lizama	タモンベイ	9月	鈴木 圭一君	東京昭島	10月
George Chiu	タモンベイ	9月	◎ 安保 満君	東京昭島	10月

新ベネファクターご紹介

ご協力感谢您いたします

伊藤 嘉章君	東京三鷹	9月	土屋 了介君	東京銀座	10月
私市 正夫君	東京iシティ	9月	小林 隆行君	東京銀座	10月
山田 充宏君	東京世田谷	9月			

日本事務局 財団室よりのご伝言：

現在、ロータリー財団ではデータベースの見直しをしており、一部の寄付のデータがまだ入っていないため、今回のリストは暫定のものとなりますので、ご了承ください。

文庫通信 (290号)

ロータリー
文庫

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ガバナーマンスリーから

- ◎「Riテーマの解釈」
田村泰三 2011 1p (D. 2710月信)
- ◎「東西ロータリーの温度差」
久野 薫 2011 5p (D. 2680月信)
- ◎「あなたの背中で会員増強を」
久野 薫 2011 4p (D. 2680月信)
- ◎「会員増強について一急がば回れ」
上野 操 2011 1p (D. 2580月信)
- ◎「会員増強および拡大月間にちなんで」
模 泰吉 2011 1p (D. 2680月信)
- ◎「次の時代を担う若手会員の増強とベテラン会員に敬意を」
松田健一 2011 1p (D. 2600月信)
- ◎「クラブ・リーダーシップ・プラン (CLP) について」
小林完治 2011 1p (D. 2690月信)
- ◎「規定審議会 (CL) について」
服部芳樹 2010 3p (D. 2630月信)

上記申込先：ロータリー文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp

開館

午前10時～午後5時
休館
土・日・祝祭日

深く哀悼の意を表し御冥福を祈ります



金子 雅美 (東京銀座新RC)

2011年10月20日逝去 (享年86歳)
1988年2月5日入会
1992-93年 クラブ会長
米山功労者 (マルチプル)



武藤 利明 (東京町田・中RC)

2011年10月31日逝去 (享年88歳)
1980年6月17日入会 チャーターメンバー
1982-83年 クラブ会長
ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター、米山功労者 (2回)



今井 正一 (東京城西RC)

2011年11月22日逝去 (享年93才)
1963年5月6日入会 チャーターメンバー
1981-82年度 クラブ会長
ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター、米山功労者

※ガバナー月信11月号において、クラブ名が間違っておりました。
謹んでお詫び申し上げます。



吉村 正雄 (東京品川RC)

2011年9月8日逝去 (享年79歳)
1977年2月3日入会
第35期 (1995-1996) クラブ幹事
ポール・ハリス・フェロー (マルチプル)
ベネファクター、米山功労者 (マルチプル)

★国際ロータリー第2750地区出席報告（10月分）★ District 2750 Membership Attendance Report October 2011

区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数			区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数		
				11年7月1日	11年10月末	増減					11年7月1日	11年10月末	増減
千代田グループ	東 京 南	4	70.30	181	182	1	多摩南グループ	東 京 八 王 子	4	88.79	54	56	2
	東 京 芝	4	89.86	92	92	0		東 京 町 田	3	71.88	54	57	3
	東 京 新 橋	4	72.09	51	54	3		東 京 日 野	4	75.14	34	34	0
	東 京 赤 坂	4	69.00	43	42	-1		東 京 八 王 子 西	4	83.58	69	75	6
	東 京 み な と	4	87.70	46	46	0		東 京 町 田 ・ 中	4	79.27	36	36	0
	東 京 レ イ ン ボ ー	4	73.44	32	32	0		東 京 八 王 子 東	4	72.62	20	21	1
銀座・日本橋グループ	東 京 麻 布	4	71.10	20	20	0	東 京 八 王 子 南	4	83.19	58	59	1	
	東 京 銀 座	4	79.66	157	159	2	東 京 町 田 サ ル ビ ア	3	83.33	22	22	0	
	東 京 日 本 橋	4	81.13	175	182	7	東 京 飛 火 野	4	75.89	28	28	0	
	東 京 築 地	4	80.38	69	70	1	東 京 町 田 東	4	67.00	25	26	1	
	東 京 日 本 橋 東	4	80.30	47	46	-1	東 京 八 王 子 北	4	68.42	37	38	1	
	東 京 中 央	5	83.62	216	218	2	東 京 立 川	4	96.39	98	99	1	
京浜グループ	東 京 日 本 橋 西	4	86.36	41	42	1	多摩中グループ	東 京 小 金 井	4	92.05	33	33	0
	東 京 銀 座 新	4	77.95	68	68	0		東 京 国 分 寺	4	92.20	41	42	1
	東 京 シ テ ィ 日 本 橋	4	76.16	47	47	0		東 京 三 鷹	4	72.40	37	37	0
	東 京 中 央 新	4	62.50	40	41	1		東 京 昭 島	4	76.03	46	49	3
	東 京 羽 田	4	76.50	42	43	1		東 京 国 立	4	97.82	49	50	1
	東 京 品 川	4	87.39	56	57	1		東 京 立 川 こ ぶ し	4	90.15	81	81	0
山の手東グループ	東 京 大 森	4	95.11	46	46	0	多摩東グループ	東 京 井 の 頭	4	90.90	21	22	1
	東 京 品 川 中 央	4	79.18	55	55	0		東 京 昭 島 中 央	4	84.00	41	43	2
	東 京 大 井	4	75.00	18	18	0		東 京 武 蔵 国 分 寺	4	87.00	47	49	2
	東 京 田 園 調 布	4	78.10	48	50	2		東 京 小 金 井 さ く ら	4	77.82	23	23	0
	東 京 港 南	4	75.00	17	18	1		東 京 国 立 白 う め	4	87.88	22	23	1
	東 京 大 崎	4	86.37	35	33	-2		東 京 府 中	4	74.34	60	61	1
山の手西グループ	東 京 蒲 田	4	91.51	62	61	-1	バングラデシュ・パレスチナグループ	東 京 調 布	4	88.80	60	60	0
	東 京 京 浜	3	90.10	21	22	1		東 京 多 摩	4	87.50	25	26	1
	東 京 田 園 調 布 緑	4	88.00	26	26	0		東 京 狛 江	4	91.67	29	29	0
	東 京 マ リ ー ン	4	76.92	13	13	0		東 京 稲 城	4	76.41	27	30	3
	東 京 白 金	4	80.80	25	26	1		東 京 武 蔵 府 中	4	78.51	53	55	2
	東 京 高 輪	2	82.61	22	23	1		東 京 た ま が わ	4	81.83	25	25	0
山の手東グループ	東 京 西	4	82.74	154	155	1	千代田グループ	東 京 多 摩 グ リ ー ン	4	78.09	34	34	0
	東 京 城 西	4	74.84	73	72	-1		東 京 調 布 む ら さ き	3	85.67	78	81	3
	東 京 西 南	4	89.79	49	50	1		東 京 い し て い	5	80.80	25	25	0
	東 京 原 宿	4	78.26	23	23	0		Guam	4	48.00	75	74	-1
	東 京 杉 並	4	75.99	39	39	0		Saipan	4	60.00	43	45	2
	東 京 神 宮	4	71.55	28	29	1		Tumon Bay	4	43.67	86	82	-4
山の手西グループ	東 京 恵 比 寿	3	86.70	90	94	4	銀座・日本橋グループ	Northern Guam	3	49.00	34	34	0
	東 京 広 尾	4	83.33	18	18	0		Pohnpei	4	45.00	23	23	0
	東 京 澁 谷	4	77.42	32	33	1		Palau	4	79.00	20	18	-2
	東 京 六 本 木	4	75.00	50	52	2		Guam-Sunrise	4	41.00	30	31	1
	東 京 世 田 谷	3	89.06	57	59	2		Truk Lagoon	4	14.00	11	15	4
	東 京 目 黒	4	90.68	43	44	1		国内84クラブ計			4,199	4,281	82
山の手西グループ	東 京 成 城	4	86.85	21	21	0	地区92クラブ計			4,521	4,603	82	
	東 京 世 田 谷 南	4	78.00	95	96	1	千代田グループ 76.21 多摩南グループ 77.19 銀座・日本橋グループ 78.67 多摩中グループ 87.05 京浜グループ 83.04 多摩東グループ 82.36 山の手東グループ 79.56 P B グループ 47.46 山の手西グループ 81.37 平均出席率 78.17						
	東 京 城 南	2	70.00	31	33	2							
	東 京 山 の 手	3	84.67	61	63	2							
	東 京 成 城 新	3	82.04	38	39	1							
	東 京 青 山	4	71.40	29	30	1							
東 京 自 由 が 丘	4	77.31	19	20	1								
山の手西グループ	東 京 世 田 谷 中 央	4	82.89	16	19	3							
	東 京 米 山 友 愛	4	82.20	30	31	1							

編集後記

本年度より初の女性委員として当委員会に加わり、編集会議の中で改めてロータリーの A to Z を学ばせて戴いております。半年過ぎて確信したのは、ガバナー月信とは地区の各グループを結ぶ「絆」であることです。皆様のお手元に毎月届く4ページの紙面以外にも、WEB版にはグループや委員会の活動報告が色濃く満載されておりますので、ぜひ地区ホームページからご覧ください。

悲喜こもごもの師走。大震災以後の日本は未だ険しい山道を登っておりますが、一緒に登ってくれる家族や友人の大切さ・温かさを再認識する山道でもあります。手に手つないで、ロータリアンという絆が太くなっていくことに感謝しながら、皆様に元気を送る情報をお届けできればと思っています。

2011-12年度ガバナー月信・IT委員会 委員 織田 ゆり子 (東京恵比寿RC)

国際ロータリー第2750地区 2011-12年 ガバナー 片倉 章雄

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2011-12 Governor Akio Katakura

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行：ガバナー 片倉 章雄(2011-12) © Akio Katakura 2011

編集・制作：ガバナー月信・IT委員会 委員長 望月 耕次 副委員長 木村 清信 副委員長 河村 勝久 副委員長 竹平 時彦
Andrew WONG 田中 廣 山見 真弘 永田 有利恵 堀口 昇治 石黒 重徳 織田 ゆり子 羽田 伊助 森本 行俊 清野 修一
浅見 省三 坂場 一隆 Brian McDERMOTT

ホームページアドレス

<http://www.ri2750.org/>